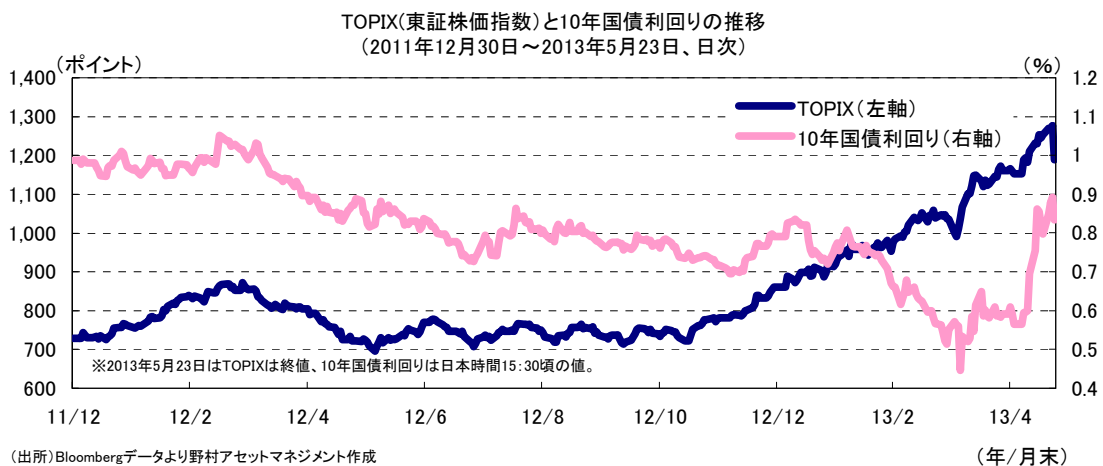


5月23日の日本株式の下落について

前日に終値ベースでリーマンショック後の高値を更新していた日本株式は、23日大幅反落し、TOPIX(東証株価指数)で前日比6.9%の下落率となりました。朝方は円安を受けて買い優勢で始まりましたが、昼前に英金融大手HSBCが発表した中国の5月の製造業PMI(購買担当者景気指数)速報値の悪化を受け、円の対米ドルレートの急反発(円高)とともに、株式への利益確定売りが膨らみました。

昨年11月半ばの野田前首相の衆議院解散表明後、日本株式は円安米ドル高が進むなかで上昇基調を強め、2012年11月14日以降、昨日22日までのTOPIXの上昇率は76%超に達していました。今年4月の日本銀行の追加金融緩和以降、10年国債利回りの変動幅が大きくなり、足元急騰するなかでも、株式市場の上昇は続いていました。

23日は株式市場の急落を受けてREIT市場も大幅に下落し、東証REIT指数の下落率は前日比5.2%となりました。



以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。